

欲

望

社

会

お釈迦様在世の時代から果てしない人間の欲望は度々指摘されて参りました。二千五百年たつた今も人間はこの欲望から逃れられないどころか、ますます盛んになっていますね。この狭い地球上に多くの生物が住み生きています。その限られた資源の中で争いは絶えることがあります。限られたものしか無いのに、手に入れるために必死です。手に入れた者を、勝ち組といいい、手に入れられなかつた者を負け組と言います。限られたものしか無いのですから全員が満足というわけにはいかないのでしょう。分け合う知恵もない代わりに、ため込むことだけはしつかりしたもんです。欲望には限度がないのですから結局は一部の人間が勝ち組となります。多くの人々は負け組になるのです。ほとんどの人が、不満とストレスをためて生きています。ギスギス、イライラしながら暮らしているのが今の日本の姿のようです。経済的なお金や物ばかりでなく、学業も一緒なようなものです。自分がダメでも、子供に過剰な期待を寄せて学業優秀なコースについて欲しいと親は望みます。これもそちらの方が勝ち組につながるといふことでしよう。しかし誰もが学業優秀というわけにはいきません。つまりスターからまもなく自分の置かれている位置が見えてきます。ほとんどの子供には勝ち組に入る道が閉ざされてしまいます。それなら趣味や才能を生かしてスポーツ選手や芸能界でタレントを目指すかもしれませんが、そんなに甘い世界ではないのです。勝ち組に残れるのはほんの一握りの人間です。最近セレブということがもてはやされています。セレブとはセレブリティの略語で、名士とか、有名人という意味です。セレブ御用達の店、セレブ行きつけの食事処、セレブの週末はパーティばかり、このようなことがもてはやされます。近頃つかわれているセレブの意味は有名でお金持ちということでしょう。そのような人に憧れ、テレビを見ながらため息ばかりです。持つているのはブランドばかり、商業戦略にまんまとほんまどはまり、馬鹿馬鹿しいことです。最近の子供の夢は、野球選手になりたい、サッカー選手になりたい、バイロットになりたい、医者になります。近頃本が売れなくなつたといいます。大型書店に行きますと新刊の多さに驚きます。探すのに困るくらいの本の山ですが書く人は増えていくのです。それが勝ち組ということなのです。最近の有名でお金持ちになりたいということみたいですね。それが勝ち組とということなのです。最近の子供の夢は、野球選手になります。最近の新人賞応募者のほとんどがろくに小説を書いてみたいのが小説家のスタートだと思つてきましたから・・・これも有名になれるお金が手に入るということなのです。欲望社会は自分さえよければの世界です。他に対する想いで書いてみたいのが小説家のスタートだと思つてきましたから・・・これも有名になれるお金が手に入るといふことです。経典の言葉「設我得仏・・不取正覺」（私が仏となつて願いが叶わなければ、私は仏像力が失われ他人の目さえも気にならなくなります。仏教は一人の教えではありません。つながりの教えです。関係性の教えです。「あなたが救われなければ私も救われません」が基本です。経典の言葉「設我得仏・・不取正覺」（私が仏となつて願いが叶わなければ、私は仏とはなりません）です。欲望社会を少し視点をずらして見てみませんか。